

インクジェット開発に、
さらなるイノベーションを。



開発用途向け産業用インクジェットプリンター

マテリアルプリンター DMP-2850



世界中の研究機関へ多数の導入実績を誇り、2012年には「プリンタブルエレクトロニクス大賞」を受賞している『マテリアルプリンター』。フラットパネルディスプレイ、各種電池、3Dプリントなどのさまざまな分野で、広く活用いただいています。富士フイルム独自のインクジェット技術『FUJIFILM Inkjet Technology』(FIT)により、R&Dシーンが求める高水準の汎用性・操作性・経済性を兼備。この、世界に認められた信頼のマテリアルプリンターが、最先端開発のさらなるイノベーションを強力にサポートします。

使用分野



ディスプレイ



エレクトロニクス



ライフサイエンス



3Dプリント



ケミカル



グラフィック



光学



太陽電池/燃料電池
2次電池

プリント可能素材: プラスチック・ガラス・金属シート・シリコン・細胞膜・ゲル・薄膜・紙など

マ テリアルプリンターの特長

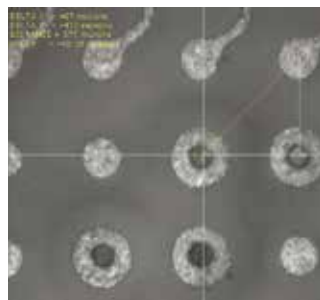
◆ オールインワン開発用途インクジェットプリンター

インクジェットの開発に必要な「吐出観察カメラ」、「基材観察カメラ」、「吐出波形エディター」を搭載。

吐出調整から描画までの一貫作業が可能。



吐出観察カメラで撮影



基材観察カメラで撮影

◆ 迅速で効率的な液交換(マテリアルカートリッジ)

- 専用の使いきりカートリッジに対応。
- 液の交換はカートリッジを入れ替えるだけ。
- ヘッドの洗浄も不要。
- 必要な液量は数mL程度。
- 多種の高価な液を、無駄なく簡単にテスト可能。

◆ 多種の液に対応

- 溶剤系・UV系・水系の広範な種類の液に適合。
- 最高60℃までの液温加熱で、より高粘度の液にも対応。

装 置仕様

タイプ	デスクトップ型(PC内蔵、モニター等別途必要)
プリント可能領域	210x315mm(基材厚0.5mm未満の場合) 210x260mm(基材厚0.5mm以上25mm以下の場合)
基材ホルダー	バキューム吸着方式(ポンプ内蔵)、 基材ホルダー面の加温調節 最大60℃
基材厚	0.05~25mm
搭載可能ヘッド	マテリアルカートリッジ 4種 (液の加温調節最大60℃)
搭載カメラ	吐出観察カメラ1台、基材観察/印刷位置合わせカメラ1台
スキャン系精度	±25μm
搭載ソフト	プリンター制御ソフト(波形エディター、描画ソフト内蔵) 取込み画像:モノクロビットマップファイル
外形寸法	68(幅)×59(奥行)×42(高さ)cm(プリンター本体のみ)
重量	51kg(プリンター本体のみ)
電源	AC100-120V 50/60Hz 375W(プリンター本体のみ)

マ テリアルカートリッジの仕様



方式	ドロップオンデマンド型ピエゾ方式	
ノズル数	16	2020年より新仕様品に変更予定
基本液滴量	1pL/10pLを選択可	
ノズル間隔	254μm	
ノズル面材質	シリコン	
最大インク容量	1.5mL	
インクバック材質	PP/LCP選択可	

※インクヘッドとインク容器で1セットです。

マテリアルプリンター Q&A

【マテリアルプリンターについて】

◆ マテリアルプリンター(DMP)とは何ですか？

インクジェット用の液や基材の開発、プロセスの開発・確認に適した実験・研究用のインクジェットプリンターです。

◆ 他の実験用プリンターと比べてどんな特長がありますか？

使いきりのカートリッジタイプのヘッドを採用しており、洗浄などの面倒な作業が必要なく、さまざまな液を効率良く実験できます。また、高価な液を少量で無駄なくテストできますので経済的です。

◆ 基材観察カメラ(基点カメラ)とは何ですか？

DMPのキャリッジに取り付けられている小さなカメラです。印刷基点位置をカメラの画像を見ながら合わせたり、印刷済みのドットやパターンを観察したりすることができます。

◆ 吐出観察カメラ(ドロップウォッチャー)とは何ですか？

DMPに内蔵されている吐出状態観察用カメラです。ノズルから吐出される液の状態を動画・静止画で観察することができます。

【カートリッジについて】

◆ どのような種類の液体を吐出することができますか？

たとえば、水ベースの液体、溶剤ベースの液体、溶媒と微細粒子の懸濁液など、さまざまな液体を吐出することができます。吐出に適した液体の粘度の目安は10mPa・s(cps)前後です。

◆ 吐出する液体は提供してもらえるのですか？

吐出液はお客様ご自身でご用意いただけます。当社からは吐出特性の基準となる標準液を提供させていただきます。

◆ カートリッジに液を充填する方法は？

カートリッジにはシリンジ(注射器)を使用して充填します。カートリッジに充填できる液の最大容量は1.5mLです。

◆ カートリッジは何度も使用できますか？

安定した吐出状態を確保するために、カートリッジの再使用はできないようになっています。

◆ カートリッジの液を加熱できますか？

はい、できます。カートリッジのヘッド部にヒーターがついており、最高60℃まで加熱可能です。

●本製品についてのお問い合わせは

FUJIFILM

富士フイルム株式会社 インクジェット事業部

〒106-8620 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル TEL:03-6419-0530 E-mail:ff-ijhead@fujifilm.com

ホームページ <http://fujifilm.jp>

072.L002D1907 宣-2019-7-A・F・2-1